

平成 26 年度 多自然川づくりの取組事例

平成 26 年度多自然川づくりにおいて、各機関より下記の多自然川づくりの取組事例について報告がありました。

機 関 名	取 組 事 例
	概 要
国土交通省 いずもかせんじむしよ 出雲 河川 事務所	<p>大橋川改修の計画・設計プロセス ～松江らしい” 風景” の保全・再生の取り組み～</p> <p>中海と宍道湖を繋ぐ大橋川(全長 7.6km)は、多様な自然環境と古くから人との関わりを感じさせる景観を有する河川であり、河川改修にあたっては自然環境と景観の保全・再生が多くの市民から求められている。</p> <p>今回は、住民との合意形成や専門家の指導・助言等を踏まえた計画・設計プロセスの一例として向島地区、竹矢矢田地区の取り組み事例を紹介する。</p>
国土交通省 やまぐち かせん こくどう 山口 河川 国道 じむしよ 事務所	<p>詳細設計段階及び工事施工後の取り組みについて（河道掘削工実施後 1 年目の取り組みの紹介）</p> <p>河道掘削の設計を行う中で実施箇所の特長や関係機関から要望、学識者とのヒアリング内容を踏まえて配慮すべき事項や掘削断面を決定し、実際に掘削工事を実施したところである。発表では、前年度の検討内容の紹介とともに、施工後 1 年目の状況や管理・モニタリングの取り組みについて紹介する。</p>
山口県 とほくけんちくぶかせんか 土木 建築部 河川課	<p>多自然川づくりアドバイザーを活用した景観設計</p> <p>平成 22 年度 7 月 10 日から 15 日にかけての梅雨前線に伴う大雨により、二級河川厚狭川及び支川桜川がはん濫し、山陽小野田市において甚大な浸水被害が発生したことから、再度災害防止を図るため激特事業により河川改修を計画した。設計に当たっては、「多自然川づくりアドバイザー制度」を活用し、厚狭川の環境保全や景観に配慮した設計を行っている。今回はその計画事例を紹介する。</p>